

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援センターあすいろ			
○保護者評価実施期間	令和7年2月5日		～	令和7年4月12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	52名	(回答者数)	50
○従業者評価実施期間	令和7年2月1日		～	令和7年2月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数)	11名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年5月13日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職の職員が多く、保護者からのさまざまな疑問や不安に専門的視点から説明が出来る場所だと思います。	専門職の職員も一緒に活動に入ること、 児の普段のようすを知ることができるので、 診察室とは違う、普段のようすを見ることができると思います。	モニタリング会議や親子通所の振り返り時にも専門職の職員には積極的に参加してもらい、 保護者からの疑問質問に都度答えられるようにしていきたいと 思います。
2	親子通所やレクチャー、体操教室を通して保護者と知り合う、話し合う機会が多いので、 お互いを知ることができ、関係性が深まるように思います。	支援者がアドバイスを一方的にするのではなくて、 話し合いながらいろいろな考え方、見方があることを一緒に 学んでいきたいと思っています。	個別の面談やモニタリング会議を通して、 お家での困りごとや園でのようすなどを聞いて いきたいと思っています。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	午前の部、午後の部と入れ替え制になっているので、 預かり時間が短く、保護者さんにとってレスパイトに なっているのかと思います。	入れ替え制にすることで、職員を手厚く配置し、 小集団での活動ながら個別にも対応できるプログラムを 作っていききたいと思います。	預かり時間は短くても、個別に対応し、 しっかりと児のようすを把握し、保護者に伝えて いききたいと思います。
2	避難訓練や感染対策などのマニュアルも整備してあり ましたが、保護者にはあまり知られていなかったことが わかりました。	避難訓練やマニュアル類については契約時の説明が不 十分であったことと、避難訓練は訓練する当日の利用 者さんにしかお伝えしていなかったことが要因だと思 います。	連絡ソフトで避難訓練等日々の行事等も細かく 伝えていきたいと思っています。
3	職員に対しても入職時や年間計画で、研修や訓練を 行っているのですが、マニュアルの存在や個別支援計 画についても知られていないことが多いことがわか りました。	すべての職員がいつも出勤しているわけではないの で、伝えつもりでも不在だったり、新人職員への オリエンテーションが不十分であったことが要因と して考えられます。	職員間の連絡ノートをもっとわかりやすく活用し ていききたいと思います。月間予定や週間予定など、 機会あるごとにアナウンスしていきたいと思 います。